

《物語》 魚になって海をのぞこう

アクトン 小二

あさおきると、わたしは魚になっていました。あたりを見まわすと、青い海がどこまでもつづいていました。どうやら、丸一日、ここでぼうけんできるようです。

このじかんをむだにするのはもったいないし、海の中をたんけんしよう！

わたしはそう思うと、にじ色に光るしっぽをすばやくゆらし、海へともぐっていきました。海はあまりふかくはなかったのです、わたしは十五メートルほどぐると、すなひれがついてしまいました。

そのとき、わたしは石がたくさんあるところを見つめました。あれはなんだろうと、わたしが思っただけで、それはむらさきやみどりに光っていることがわかりました。もつとちかづくと、それはイソギンチャクでした。オレンジと黒と白のしまもよりのカクレクマノミたちが、たのしそうに出入りしています。

「きれいだなあ。」

すこし見とれてみると、頭の中にいいアイデアがうかびました。

そうだ！ これを一本とってもつてかえろう！

わたしはゆっくりとていねいに一本とると、そのまま口にくわえてききをいきました。

イソギンチャクを見てから一じかんたちました。「さっきからなんにも見えないなあ。」



わたしがつぶやくと、ぶくぶくとあわの音がしました。おどろいて見てみると、それは、えびやかにのむれがあつまっているところでした。すこしじかんがたつとそのあつまりがなにかをとりかこんでいることがわかってきました。ふしぎに思っていると、一

びきのえびがわたしに気づいて、あつというまにかにもえびもいなくなってしまうました。でも、わたしはそんなことは気にしていませんでした。その、じぶんの目の前にあるものにくぎづけになっていたからです。それは、白い貝がらに入ったつやつやとかがやく白いしんじゅだったのです。そのとき、またいいアイデアがうかびました。

さつきとったイソギンチャクをつかって、この貝がらをむすんだら、もつときれいになるかも。わたしは、アイデアがうかんだときすばやくうごき、イソギンチャクで貝がらをむすびました。

もうかえりたいなあ。わたしが思うと、まばたきするまに、いえのドアの前にいました。わたしは、そのよる海で友だちといっしょにあそぶゆめを見ました。

【評】魚になった〇〇さんの心の様子がとてもよく伝わってきます。スイミーのように海の中で出会った素敵な生き物たちの様子をよく観察しているところも上手に書けています。

《説明文》 犬のおせわの仕方

アクトン 四

わたしは、犬のおせわのし方をせつめいします。わたしも犬をかっています。

《ひつようなもの》

- ・リード
- ・食べもの
- ・ケージ
- ・おもちゃ
- ・えさ入れ
- ・水

《犬のおせわの仕方》

まず、犬をおこして、にわにつれていきます。うんこをひろってごみばこに入れます。



中に入って、水をあたらしいのにかえます。食べものもあげます。

その後、ボールとリードをもって公園におさんぽに行きます。つかれはじめたら家に帰ります。

つぎに、ひろごはんまでちよつとねさせて、にわがあつたらドアをあけて、うんこをしたらひろいます。子犬のときは、ひろごはんをあげます。おとなはなにもあげなくていいです。

それから、ごはんの後にまたおさんぽに行きます。公園に行ってもいいけれど、ちがうところにおさんぽしたら犬がよるこびます。林とかに行くのもいいです。ほかの犬とあそばせてください。あつかったら、夕方におさんぽをします。

さいごに、五時まであそんだりねたりします。そしてよるごはんをあげます。にわにいさせてうんこをひろいます。ケージとかベッドにねさせてください。

《ちゅうい》

犬は、かんだりなめたりします。

犬のおせわは大へんだけれど、じょうずにしたらかわいくて楽しい友だちになりますよ。

【評】犬のお世話の仕方を分かりやすく説明できました。時々詳しいコツやヒントが書かれていて、読んでいて楽しくなります。私も犬を飼いたいと思います。

《日記》 八月十二日

フレント 小二

ぼくは、なつやすみにどうぶつえんにいきました。ぼくは、ペンギンのふくをきていき、ペンギンにみせてみました。すると、ペンギンは、ぼくのふくをつつきました。ともだちになれたとおもいます。かぞくでポップコーンをかかって、みんなでたべました。あまくておいしかったです。



【評】〇〇さんとペンギンとの交流に、心が温まります。一生の思い出になりますね。

